



平成 30 年 12 月 27 日

各 位

会社名 ファーストコーポレーション株式会社
代表者名 代表取締役社長 中村 利秋
(コード番号 1430 東証第一部)
問合せ先 取締役経営企画室長 能宗 啓之
(TEL 03-5347-9103)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 12 月 27 日開催の取締役会において、平成 30 年 7 月 9 日に公表した平成 31 年 5 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 31 年 5 月期第 2 四半期 (累計) 業績予想数値の修正 (平成 30 年 6 月 1 日～平成 30 年 11 月 30 日)
(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,924	1,282	1,270	871	65.25
今回修正予想 (B)	8,944	944	939	644	48.24
増減額 (B-A)	△3,979	△337	△331	△227	
増減率 (%)	△30.8	△26.3	△26.1	△26.1	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 5 月期第 2 四半期)	10,211	1,037	1,030	705	52.87

(2) 平成 31 年 5 月期通期業績予想数値の修正 (平成 30 年 6 月 1 日～平成 31 年 5 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,018	2,418	2,396	1,649	123.51
今回修正予想 (B)	21,499	1,995	1,989	1,372	102.78
増減額 (B-A)	△3,518	△422	△406	△277	
増減率 (%)	△14.1	△17.5	△17.0	△16.8	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 5 月期)	20,818	2,246	2,233	1,569	117.63

2. 修正の理由

(1) 平成 31 年 5 月期第 2 四半期（累計）

当第 2 四半期累計期間の売上高につきましては、完成工事高における一部案件の工事着工遅れ等の影響により、7,456 百万円（当初予想値比 472 百万円減）となる見込みとなったこと、不動産売上高における事業用地販売が成約に至らず、当初予想値の 2,800 百万円が未達となったこと、不動産売上高における共同事業について、当初見込んでいた販売戸数の減少及び値引き等の影響により、1,416 百万円（同 697 百万円減）となる見込みとなったことにより、当初予想値より 3,979 百万円下回り、8,944 百万円となる見込みとなりました。

一方、当第 2 四半期累計期間の利益面につきましては、完成工事高の減少による影響があったものの、原価低減等による利益率の改善により、完成工事総利益が 1,138 百万円（同 102 百万円増）となる見込みとなったこと、不動産売上高の減少により不動産売上総利益が 240 百万円（同 473 百万円減）となる見込みとなったこと等により、営業利益は 944 百万円（同 337 百万円減）、経常利益は 939 百万円（同 331 百万円減）、四半期純利益は 644 百万円（同 227 百万円減）となる見込みとなりました。

(2) 平成 31 年 5 月期通期

通期の売上高につきましては、完成工事高について、当第 2 四半期累計期間の要因に加え、受注目標としていた案件の一部見送り等の影響により、14,096 百万円（当初予想値比 1,377 百万円減）となる見込みとなったこと、不動産売上高について、事業用地交渉の長期化及び競争激化等を鑑み期末までの成約見込み案件を再検証した結果、4,214 百万円（同 2,185 百万円減）となる見込みとなったこと、不動産売上高における共同事業について、販売戸数の見通し等を再検証し一部を翌期へ繰り越し見通しとした結果、2,460 百万円（同 551 百万円減）となる見込みとなったこと、その他の売上高について、リノベーション案件の販売を見込んだ結果、728 百万円（同 596 百万円増）となる見込みとなったことにより、当初予想値より 3,518 百万円下回り、21,499 百万円となる見込みとなりました。

一方、通期の利益面につきましては、当第 2 四半期累計期間の増加要因があったものの売上高減少の影響により、完成工事総利益が 1,983 百万円（同 41 百万円減）となる見込みとなったこと、不動産売上高の減少により不動産売上総利益が 850 百万円（同 516 百万円減）となる見込みとなったこと、リノベーション案件の販売を見込んだ結果、その他の売上総利益が 148 百万円（同 110 百万円増）となる見込みとなったこと等により、営業利益は 1,995 百万円（同 422 百万円減）、経常利益は 1,989 百万円（同 406 百万円減）、当期純利益は 1,372 百万円（同 277 百万円減）となる見込みとなりました。

3. 配当予想値につきまして

平成 31 年 5 月期の配当予想値に変更はありません。

(注) 本資料における業績予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上